

校長室だより

第9号

柏原市立柏原中学校
校長 石田 智
令和7年11月10日（月）発行

○生徒会役員選挙 立会演説会

新しい生徒役員選出に向けて10月9日（木）より候補者が校門にて選挙活動を兼ねてあいさつ運動を行いました。週番の生活委員に9名の候補者が加わり、大きくさわやかなあいさつの声が朝から響き渡りました。そして10月20日（月）の6時間目に体育館にて立会演説会が行われました。候補者とその応援弁士が舞台上がり順番に演説を行いました。多くの生徒が、原稿に頼ることなく自分の言葉で、当選したら取り組んでみたいことや候補者を応援する理由などを堂々と発表しておりとても感心しました。どの生徒が選ばれても間違いなく更に良い学校にするために活躍してくれる、そう感じさせてくれるような見事なスピーチだったように思います。開票はその日のうちに行われ、2年生5名と1年生1名が新役員として選出されて、翌日（21日）の朝に選挙管理委員長より公表されました。

昨年に続き今回も定員を超える立候補者がいたため、残念ながら当選できなかった人が出てしまいましたが、学校を良くするために貢献したいという熱い思いは全員変わらず素晴らしかったと思います。立候補者、応援弁士、選挙管理委員の皆さん、そして、これまで頑張ってくれた旧生徒会役員の皆さん、本当にお疲れさまでした。



○人権講演会

10月24日（金）の午後、それまで取り組んできた部落差別問題の学習の一環として、当事者の方を講師にお招きし人権講演会を行いました。講師の方からは、ご自身の生い立ちやこれまでの経験、差別をなくすために取り組んでおられる活動のことなどを1時間を超えてお話しいただきました。ご親戚の結婚式の際に相手側の親族が誰も出席されなかったことや、中学生時代に尊敬していた先輩からの無自覚な差別発言で傷ついたこと、そしてイタリア旅行の際には、ご自身が無自覚に差別発言をしてしまったことなど、身近にある差別について知ることができました。我々の身の回りにはマイクロアグレッション（悪意がないにもかかわらず、無意識の偏見や思い込みによって相手を傷つけたり不快にさせたりする言動）がたくさんあり、それに気づくためには今回のように社会にある差別についてしっかりと学び、そして学び続けることだと教えていただきました。生徒たちはとても真剣にお話に耳を傾けており、心で受けとめてくれたように思います。将来、差別事象に出会ったときに、「それはおかしいと学校で習わなかった？」と言える大人になってくれることを願っています。貴重な学習の時間を与えてくださった講師の方に心より感謝いたします。



○職業体験学習

10月29日（水）～31日（金）の3日間、2年生による職業体験学習が行われました。製造、販売、飲食業、教育、福祉、サービス、公共、公務、医療の9つの業種に分かれて、地域の事業所にて体験をさせていただきました。初めて学校を離れ、教員以外の人からの指導を受けての活動ということもあり、生徒たちは少し緊張している様子でしたが、事業所やお客様の役に立ちたいという思いをもって一生懸命取り組んでいたように思います。いくつか事業所を訪問しましたが、あちこちで生徒たちの頑張りについてご評価いただきました。今回の体験を通じて、将来の仕事について自分自身で考えるきっかけにしてもらえたらと思います。お忙しい中受け入れてくださった事業所の皆様方に心より感謝いたします。



○校長面接

10月20日（月）より、受験などの面接の練習として3年生の生徒と私の1対1で面接をしています。基本的に朝に2名、昼休みに1名、放課後に2名行っており、希望する進路のことや将来の夢、中学校で頑張ってきたことなどを聞かせてもらっています。授業を持たない私としては、この10分は生徒たちと直接話せる貴重な時間であり、校内で見ていた時の様子からは分からなかったそれぞれの生徒の性格や考え方、関心などを知ることができ、毎日が新たな発見の連続です。まだ半分以上残っていますので、これからの人は必要以上に緊張せず、素の自分の良さが出せるようリラックスして臨んでほしいと思っています。



【美術部制作 11月の黒板アート】